

第539号
2012.12.25(火)

ウリトンネの2012年を振り返る

大震災と原発事故、年末には金正日大元帥の急逝と忘れることのできない2011年を送り、気持ち新たに迎えた2012年でした。主席の生誕100周年を迎え、新しい指導者と共に新たな時代を築きつつある祖国の姿は私たちが在日同胞にも希望を与えてくれました。

大震災、特に原発事故の影響は未だ続き、ウリ同胞の中でも避難を余儀なくされた人たちは今年も県外で年を越すことになりそうです。しかし、今年福島県本部では、昨年延期せざるを得なかったハッキョ創立40周年を輝かしくむかえ福島県のトンポトンネに新たな全盛期を切り開くため、様々なことを行ってきました。

特筆すべきは一連の40周年イベント！

- 2年越しになった40周年実行委員会の活動はいつまでも忘れることができません。
 - 震災による補修工事をする事になり、募金の予定額を昨年より多く決めましたが、それ以上の募金を集めることができました。
 - 4月5日の入学式には新しい通学バスの伝達式
 - 6月5日には青商会との共同主催でチャリティーゴルフコンペ。昨年を大幅に上回る参加者で大成功！
 - メインの40周年記念集会は350人の参加者！大勢の卒業生、同胞たちで盛大に祝いました。
 - 最後を飾ったのは金剛山歌劇団公演。今年は舞踊ミュージカル「春香伝」で華麗な舞台を堪能しました。
 - 12月1日に2年にわたる40周年実行委員会活動の総括をし、解散式。
- 実行委員のみなさん！本当に、本当にお疲れさまでした！

青商会が大活躍！

- 宮城県で行われた「ウリ民族フォーラム」を契機に県内の青商会活動も一層活発に行われました。
- ・ゴールデンウィークに東北の子供たちのイベントを開催
 - ・東京で東北・福島ハッキョ関連者たちのつどいに120人参加。ハッキョに支援金
 - ・6月のフォーラム当日もスタッフ、出演者として大活躍
 - ・青商会が主催して全同胞を対象にした講演会を企画
 - ・茨城ハッキョで「セツピョル学園」
- その他様々な機会に大きな力を発揮しました。

昨年に引き続きハッキョの放射線量を下げるとの活動

40周年実行委員会の活動の一環として入学式の前、夏休み中、記念集会の前に行いました。7月は猛暑(軽い熱中症にかかった人も)、9月は雨の中でしたがハッキョのための一念で頑張りました。

もうすっかり仲良しです

- 放射線の影響から子供たちを守るために行われた新潟ハッキョでの合同授業は今年も行われました。
- しかし今年はまだすっかりなかよしになったようでした。
- ・5月、10月、11月に合同授業
 - ・運動会、キャンプ、ミレフェスティバルには一緒に。
 - ・授業参観は新潟のハッキョで行いました。
- *「番外編」～年末に福島と新潟のチヨチヨンの忘年会を合同で行いました。

若い世代がウリトンネの中心に

子供たちに外遊びをさせるのは心配だという中通地域の若いアツパ、オンマの意見を聞いて今年の8.15を祝う集いは会津支部と中通支部の合同で猪苗代湖畔で行いました。この日は天気にも恵まれ家族連れを中心に100名を超す参加者で大盛況でした。

また、この場で新しい郡山分会長、分会委員が発表されました。新たに分会長になった金世一さんの「これからは私のことを名前ではなく分会長と呼んで下さい。」という挨拶に大きな拍手がおこりました。

10月に行われた「分会代表者大会」2日目の昼食会では壇上で紹介され郡山分会を一層盛り上げていく決意を語りました。

来年初のイベントは新春のつどい

恒例同胞新春のつどいは1月13日(日)午後2時より、郡山市のホテルハマツで行われます。新春講演会、成人式、新年会が行われます。希望される方には送迎を行いますので商工会、支部、ウリ支店に遠慮なく申し出てください。

！今年最後の「週刊トンネ」です。
！トンポヨロブ、よいお年をお迎えください。